

## 1.2.13.8-01

---

「～はず」と「～べき」の使い分け

## 1.2.13.8-01\_「～はず」と「～べき」の使い分け\_ナレッジ



まず、「はず」と「べき」の用法を理解しましょう

### 「はず」の用法

- ① **当然** そうなることの意を表す。 例文) この地図を見ればわかる【はず】だ。
- ② これからの事柄についてその**予定**を表す。 例文) 今日届く【はず】だ。
- ③ 不審な物事や納得のいかない事柄を、何らかの事情を根拠にして納得する意を表す。  
例文) 寒い【はず】だ、窓が開いている。
- ④ (【～たはずだ】の形で) 事柄についての**確信・確認**の意を表す。その確信していた事柄と事実とが違っていることを不信に思う気持ちを込めていう。 例文) 君にたのんだ【はず】だ。  
**【はずがない】**は「はずの前の部分が起こらない」という確信がとて高い場合に使われる。  
例文) まじめな彼が約束を破る【はず】がない。

### 「べき」の用法

- ① **当然のなりゆき**、あるいは、**そうなるはず**の事柄を述べる。  
例文) いま満開のこの花もやがては散る【べき】運命にある。
- ② (「べきだ」「べきである」などの形で) **義務づける意味**を表す。  
例文) この件についての責任はすべて幹部がとる【べき】だ。

## 1.2.13.8-01\_「～はず」と「～べき」の使い分け\_ナレッジ



### 「はず」と「べき」の使い分け

この2つの言葉の意味はとても似ています。物事に対する話し手の(そうする、そうなるのは)「当然だ」という気持ちや判断を言う時に使う。では、何が違うのでしょうか。

1)「はずだ」とは客観的な様子や条件から判断して、そうなる可能性が非常に高い場合、そうなるのは当然であることを推量・期待する時に使う。

- ・「はず」は、予想(想像)的な意味合いが強く、確実ではないけれど、理論や経験則などに基づいて、当然そうなるに違いないと推定する。ですから、「はず」は「思う」と似ていますが、「はず」の方が「思う」より確信度が高いです。

2)「べきだ」とは人間の「意思」と関係があり、使う人の頭の中に、主観的に考え(理想、利、徳、など)があって、他人がその考え通りに行動することを強く押し付けるときに使う。

- ・「べき」は、「～しなければならない」とほぼ同じ意味ですが、強制(勧誘・提案)的な意味合いが強く、ほぼ確実な現実的事柄に対してよく使う。

- ・「べき」はアドバイスをする時に使う「～する方がいい」とほぼ同じ意味ですが、「べき」の方が強いアドバイスになります。

## 1.2.13.8-01\_「～はず」と「～べき」の使い分け\_応用例



### 使い分けの具体例(応用例①)

天気のいい日はここから富士山が見える【はず】です。



天気の客観的な様子から「富士山が見える」と判断するので「はず」を使う。  
「べき」は「人間の意志が関係があり」、だから「べきだ」を使うのは変です。

今、出れば、暗くなる前に着く【はず】です。



出発時間(客観的な条件)から途中の時間を計算して暗くなるまでに到着できると予測するので、「はず」を使う。

今日は日曜日だから、道はあまり込んでいない【はず】です。



通常日曜日の交通状況(客観的な状況)によって今日の交通状況を見込むので、「はず」を使う。



### 使い分けの具体例(応用例②)

彼たちは警察に電話をする【べき】だった。



警察に通報する義務があり、強くアドバイスをする気持ちがあるので、「べき」を使う。

上司には敬語を使う【べき】だ。



上司には敬語を使うのは当然だという気持ちを強く押し付ける意味があるので、「べき」を使う。

学生はしっかり勉強する【べき】だ。



学生はしっかり勉強しなければならないという義務付ける意味があるので、「べき」を使う。

## 1.2.13.8-01\_「～はず」と「～べき」の使い分け\_ナレッジ



### 使い分けの具体例(応用例③)

以下の文例は「はず」と「べき」と両方とも使えるが、それぞれの用法の違いを理解しましょう。

① 10年も日本語を習っているんだから、  
JLPT1に合格する【はず】だ。

② 10年も日本語を習っているんだから、  
JLPT1に合格する【べき】だ。



①客観的な様子から判断して、彼はJLPT1に当然  
に今年合格すると想定する。(「はず」用法①)

②彼はJLPT1に合格しなければならない。強制的  
な意味合いが強い。(「べき」用法②)

①もう2時になったんだから、彼は来る【はず】  
だ。

②もう2時になったんだから、彼は来る【べき】  
だ。



①出発時間などの客観的な条件から判断して、もう  
2時だから、彼は高い確率で来るに違いないと推  
定する。(「はず」用法②)

②遅いなあ。彼は義務として早く来なければならな  
いことを押し付ける。(「べき」用法②)